内海ITU事務総局長
ジュネーブ便り
（2004年9月）

◎内海事務総局長から

韓国で開催されたITUテレコムアジアで、韓国の勢いをまざまざと見せつけられました。地域イベントにもかかわらず、アフリカ、東欧、南米からも、大臣クラスが出席していましたが、韓国のICTセクターにとっては、その実力を見せるのに、これ以上の機会はなかったのではないでしょうか。

私は、専ら韓国語の勉強と、日本と韓国の文化がいかに共通であるかを研究しましたが、言葉もほとんど同じ、文化は、全く同じだと言っても、間違いがないと実感しました。

◎9月の事務総局長の主な動向

9月7～11日　ITUテレコムアジア2004（韓国、釜山）

電気通信分野のトップリーダーによるフォーラムと最新技術の展示会で構成する「ITUテレコムアジア2004」を釜山（韓国）で開催しました。韓国は、前回のテレコムアジア2002の開催地選定の時からテレコムアジアを招聘しようと精力的に招致合戦を展開して、韓国側が多くの費用を負担する案など様々なアピールを行い他の候補地を抑さえて開催地に選ばれました。韓国政府のICT政策による国の発展にかける期待は相当のようで、開会式に出席していただいた盧武鉉大統領は、ユビキタスコンピューティングによる社会の発展性について述べられていました。

展示会では、近年の経済事情を反映して出展者が減少するのではと懸念された時期もありましたが、結果的には多くの展示パビリオンが立ち並び、参加者数は前回香港でのテレコムを上回る結果となりました。出席された各国の大臣及びトップリーダーの多くと面会しましたが、テレコムはリーダーが一堂に集まりハイレベルな外交が繰り広げられる機会と認識されていて各リーダーとも精力的に活動されていました。来年のITUテレコムアメリカ（ブラジル）、2006年のITUワールドテレコム（香港）も各関係者の満足を得られるイベントとなるよう期待しています。

9月15日　万国郵便連合（UPU）第23回大会議（ルーマニア、ブカレスト）

5年に1度開催される万国郵便連合の最高意思決定機関である大会議が、ルーマニアで開催されました。多くの国で郵政事業と電気通信政策とが同じ省で所管されていますから、UPUとITUとの関係は深いものとなっています。最初の全体会合で、日ごろITUの会議に出席されている通信大臣らが多く出席されているなかで、スピーチをいたしました。

また、ルーマニアは、イリエスク大統領のリーダーシップのもとで、昨年のWSISに向けた欧州地域準備会合を開催するなど、ICT関連の政策活動に意欲的です。また、郵便・電気通信分野に関して欧州各国の意見調整に努める欧州電気通信主管庁会議（CEPT）の議長職をルーマニアが今後1年間務めることになっています。今回は、旧知のイリエスク大統領ともお会いし、来年チュニジアでのWSISの成功に向けて互いに協力していくことを確認いたしました。

9月17日　グスタフ16世スウェーデン国王のITU訪問

世界のボーイスカウト活動を統括する世界スカウト機構、世界スカウト財団の会議がITUで開催されました。世界スカウト機構とITUとの間に直接の関係はなかったのですが、近年ITUが様々な国際会議を開催していることを考慮して、スカウト機構側からITUに会議室使用及び会議サポートの依頼があり、開催されたものです。世界スカウト財団の名誉会長を務めるグスタフ・カール16世スウェーデン国王も臨席され、私の事務室にもお越しいただき、ITUとスウェーデンの歴史的関係などの話に花が咲きました。

9月20～21日　WSISインターネットガバナンスに関する非公式協議

インターネットの統治に関する問題は、来年のWSISに向けて、国連事務総局長のもとに設置される作業班（WGIG）で議論されることとなっています。今回の非公式協議（コンサルテーション）は、政府、民間、市民社会などから広く関係者が集まり、インターネットの統治とは何か？　WGIGの検討方法はいかにあるべきか？　など自由に意見交換を行い、今後の作業に役立てることを目的に行われました。多くの意見は、WGIGのプロセスは透明性を確保して包括的であるべき、技術的課題に限らず広範な政策課題も議論すべきというものでした。今後、この会議の結果がアナン国連事務総長に報告され、速やかにWGIGが設置され本格的な検討が始まるものと期待しています。

9月23～24日　WSISに関するチュニジア政府との協議（チュニス）

来年11月チュニスで開催するWSISの準備状況に関して、チュニジア政府と今後の準備作業などについて協議を行いました。ベン・アリ チュニジア大統領とも直接お会いして、いろいろ相談しましたが、大統領自らが強い熱意を持ってWSISを成功に導こうとされています。サミットの構成、展示会の概要、VIPの警備、出席者の事前受付の処理方法など、これから細部を確定していく作業が続きますが、大統領の強いリーダーシップでおおむねは良好に準備が進められていると評価できます。

“奈良、京都ではなくて韓国・慶州です”　内海善雄